

| 2. 事業の目的と概要 | |
|-----------------|---|
| (1) 上位目標 | 事業対象地域における妊産婦・新生児死亡率が減少する |
| (2) 事業の必要性 (背景) | <p>(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ</p> <p>ホンジュラス共和国 (以下「ホ国」) は、中南米で最も開発の遅れた国の一つであり、ミレニアム開発目標 (MDGs) の達成に向けた様々な課題の克服、「人間の安全保障」理念の社会への浸透を含め、多様な開発ニーズがある。これに対して、ホ国保健省は、MDGs に係る保健分野の目標達成に向け、「国家保健計画 2021 年 (Plan Nacional de Salud 2021)」を作成し、これに沿った取り組みを行っているが、妊産婦および乳幼児の死亡率は中南米平均と比較しても依然として高い水準にある。この背景には、母子保健施設を基盤とした周産期ケアに係るサービスが農村部や山間部の人々に行き届いていないという現実があり、特に施設分娩率の低さが安全な出産を進める上での喫緊の課題となっている。こうした状況を改善する方法として、ホ国保健省は、妊婦や産褥婦が滞在できる「妊婦の家」の設置、母子保健に係る保健医療従事者の能力強化、村落において施設分娩推進のための啓発活動等を行う保健ボランティアの育成等を推奨しているが、限られた予算内ですべての課題を克服することは困難な状況にある。</p> <p>(イ) 本申請事業立案の背景</p> <p>エル・パライス州は、同国東部のニカラグアとの国境に位置し、人口約 43 万人のうち 7 割以上が農村地域に居住している。同州には、母子保健に関連するサービスを提供する公的保健医療施設として、ダンリ市中心部に位置する県の基幹病院である「ガブリエラ・アルバラド病院 (通称：ダンリ病院)」ならびにダンリ市サンタ・マリア地区、トロヘス市、エル・パライス市の 3 箇所に位置する「母子保健センター (CMI=Clinica Materno-Infantil)」が存在する。</p> <p>(なお、一次医療施設である保健所では、妊婦健診のみを行い、出産介助は行えない。) CMI はリスクの極めて低い普通分娩のみに対応可能な施設で、若高年 (17 歳以下・35 歳以上)、初産、多産 (4 人目以上)、逆子、多胎、その他の医学上のリスクを伴う出産はダンリ病院にて対応することとなっている。しかしながら、施設面、人材面、知識面の不足などから施設分娩率は 5 割程度 (年間妊婦数 12,344 人に対して施設分娩数 6,544 件) と依然として低い状況にある。</p> <p>上記のような状況に対して、当団体は同州の中でも特に施設分娩率の低いトロヘス市において、2012 年 8 月～2013 年 7 月の予定で「母子保健センター利用促進プロジェクト」を実施している。その内容は 1) 同市母子保健センター (CMI) 併設の「妊婦の家」建設・運営支援、2) 保健医療従事者の能力向上支援、3) 対象村における保健ボランティア育成、である。同プロジェクトは、出産日の近い妊婦が出産を待つための宿泊施設「妊婦の家」を建設することにより CMI から遠方に住む妊婦が宿泊費の心配なく待機できるようにするとともに、トロヘス市内の CMI・保健所の医師・看護師に対する研修の実施を通じ、</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>母子保健に関する能力の向上を図り CMI の利用を促進するものである。プロジェクトは予定通り進捗しており、「妊婦の家」の建設が完了し、同施設を運営する住民の委員会の形成および能力強化も進んでいる。これまでの活動を通じて、産前産後健診利用者が 3～4 割、出産の利用者がほぼ 2 倍の増加が見られている。</p> <p>一方、前述の通り、CMI で対応できるのは普通分娩のみであり、リスクを抱える妊婦の出産はダンリ市（人口約 18 万人）に所在する同県唯一の総合病院である「ダンリ病院」に毎月の CMI での出産数と同数またはそれ以上の妊婦が搬送されていることが確認されている。【別紙：表①参照】</p> <p>同病院は 140 床（うち産科 30 床）を備え、ダンリ市内の CMI の役割（リスクの低い分娩を扱う）を果たすとともに、同県の基幹病院としてリスクの高い分娩も扱い、年間 6000 件以上の出産に対応している。【別紙：表②参照】しかしながら、同病院には現在「妊婦の家」がないため、妊娠・出産に関するリスクがあることが分かっているながらも、経済的な理由から村に留まり家庭で出産せざるを得ないケースも多くみられる。また、産科のベッド数が 30 床に限られており、帝王切開などのケースを含めても平均 1.5 日間しか滞在できない状況にあり、出産に係る母親の健康を阻害する大きな要因となっている。</p> <p>上記の状況を改善するために、同県の保健行政を管轄するエル・パライス県保健事務所ならびにダンリ病院と協議を重ねた結果、30 床を備える「妊婦の家」を同病院に併設する事業の立案に至った。（30 床の根拠は別紙の通り）</p> <p>当団体は、本事業対象地であるダンリ市を含むエル・パライス県において母子保健に係る事業を行った経験を有する。同事業を通じて、保健ボランティアの育成やコミュニティ薬局の運営支援などコミュニティレベルの活動を中心に行ったが、対象村数にも限りがあった他、母子保健に関する施設整備の面でのニーズも明らかになったことから、過去の経験を活かした上で、本事業の実施を行うことで、対象地域の母子保健の向上を図ることとしたい。</p> |
| (3) 事業内容 | <p>(ア) <u>活動 1. 妊婦の家の建設及び運営支援</u></p> <p>30 床の「妊婦の家」を建設し、必要な機材・備品を配備するとともに、住民ボランティア等約 15 人によって構成される運営委員会を形成し、同委員会のメンバーに対して運営に関する研修を実施することにより、管理・体制を構築する。妊婦の家建設並びに委員会による運営が将来の施設分娩向上のモデルとなるよう目指す。</p> <p>(イ) <u>活動 2. ダンリ病院産科スタッフに対する研修</u></p> <p>ダンリ病院産科医師、看護師等約 40 人を対象に、同国保健省が策定したプログラムを用いて、分娩や産前・産後の対処法に関する 5 日間の技術研修を行い、同病院産科スタッフ能力強化を図る。これによって</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>(ウ) <u>活動 3. ダンリ市内の CMI・保健所スタッフに対する研修</u></p> <p>ダンリ市内の一次医療施設であるサンタ・マリア CMI 及び 30 か所の保健所のスタッフ 60 人に対して、保健省規定のプログラムを用いて、産前・産後および新生児ケアの 3 日間の技術研修を行い、スタッフの能力強化を図る。</p> <p>(エ) <u>活動 4. ダンリ市内保健ボランティアに対する周産期教育等実施</u></p> <p>ダンリ市内 30 か所の保健所のうち過去 3 年以内に母子の死亡の報告があった 15 の保健所が管轄する 144 村の保健ボランティア 288 人に対して、周産期ケアにおける保健ボランティアの役割等に関して 2 日間の研修を行い、施設分娩の重要性とボランティアの役割について理解を深める。さらに、同 144 村のうち（保健省により推奨されている）妊婦緊急搬送委員会が形成されていない 32 村において、各村 5 人からなる委員会を形成し、同委員会メンバーに対して搬送やファーストエイドなどの研修を行う。同研修を行う過程で、各村の特性にあわせた緊急時の搬送プランの作成を指導し、その後、同プランの作成状況を確認し必要に応じて追加の指導を行う。</p> <p>(オ) <u>活動 5. ダンリ病院とダンリ市内の他の病院施設とのネットワークの強化</u></p> <p>エル・パライス県保健事務所、病院、CMI 間の連携体制強化のため、「妊婦の家」運営委員会メンバー、市役所担当者、ダンリ病院担当医師、同担当看護師、エル・パライス県保健事務所担当者等関係者で「妊婦の家」の建築状況（完成後は運営状況）の視察を行い、問題点などについて話し合う会合を持つ機会を 3 回行う。</p> <p>（各活動の詳細については、別紙 2 参照）</p> |
| | <p>建設した「妊婦の家」および供与備品は本事業のカウンター・パートであるエル・パライス県保健事務所に譲渡され、地域住民らによって組織される「妊婦の家」運営委員会によって運営管理ができるよう本事業で支援することにより、同施設の維持管理体制を確保する。これは、同国保健省の規定に沿うものであり、既に同様の方法によって、トロヘス市の妊婦の家が順調に運営されていることから、この手法により持続可能性が確保されるものとする。また、「妊婦の家」の運営は上述の運営委員会により行われることとなるが、運営に係る維持管理経費（建物の修繕、食費、水道・光熱費、消耗品、清掃費等）については、施設利用料などの利用者負担（負担可能なレベルを設定）、水道・光熱費のダンリ市役所負担金、その他地元支援団体からの寄付金などを利用して賄われることが想定されている。また、ダンリ病院には既に地域のボランティアによって組織された「ダンリ病院支援委員会」が存在し、同委員会と「妊婦の家」の管理についても協議を行っており、維持管理体制の基礎が形成されている。また、保健施設のスタッフへの研修や村落の保健ボランティアの育成についても、同国の研修ガイドラインに沿って現地のニーズに則した内容のも</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>のを行うことにより、そこで習得される知識や技術はその後も持続的に活用できるものとする。</p> |
| <p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p> | <p>(ア) 裨益者数</p> <p><u>直接裨益者</u></p> <p>ダンリ病院で出産する妊婦：約 6,000 人 ダンリ病院産科スタッフ 40 人、CMI、保健所のスタッフ 60 人 保健ボランティア 448 人 ダンリ病院「妊婦の家」運営委員会メンバー15 人</p> <p><u>間接裨益者</u></p> <p>ダンリ病院で出産する妊婦の家族：約 30,000 人</p> <p>(イ) 期待される成果</p> <p><u>事業目標：事業対象地域における施設分娩が促進される。</u></p> <p>指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> -ダンリ病院の普通分娩妊婦の病院関連施設滞在日数が平均 1 日から 5 日間となる -ダンリ病院の普通分娩数が現在より 10%増加する -ダンリ市におけるダンリ病院を含む施設分娩率が 10%増加する |